

2025年12月2日

## 緊急声明

英蘭政府がモザンビーク LNG 事業への支援中止を発表

日本の公的機関も同事業への支援を中止すべき

国際環境 NGO FoE Japan

「環境・持続社会」研究センター (JACSES)

気候ネットワーク

メコン・ウォッチ

オイル・チェンジ・インターナショナル (Oil Change International)

マーケット・フォース (Market Forces)

2025年12月1日、英国の輸出信用機関である英國輸出信用保証局 (UKEF) が、モザンビーク LNG 事業に対する支援を中止することを明らかにした。2020年から事業を取り巻くリスクは上昇しており、事業への参画は英國の利益に資さないと判断したためだ[1]。また同日、オランダ政府も同国の輸出信用機関であるアトラディウス信用保険会社 (ADSB) が、同事業への支援を行わないことを発表した。オランダ政府が公表した文書によれば、すでに同事業に係る様々なリスク評価を行い、支援の見直しに係る意思決定プロセスの最終段階にあったものの、2025年11月24日に ADSB が事業実施者であるトタルエナジーズ社から、金融支援を放棄する旨の通知を受け取ったとのことだ[2]。

モザンビーク LNG 事業は、2021年に治安情勢の悪化により開発が中断されていたが、今年10月に入ってから複数のメディア[3]がトタルエナジーズ社による「不可抗力宣言」の解除と事業の再開を報じていた[4]。

同事業への公的支援者としては日本が最も大きく、国際協力銀行 (JBIC) と日本貿易保険 (NEXI) がそれぞれ事業への支援を決定している。また三井物産と独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) が事業に出資し、民間金融機関も協調融資を決めている[5]。

モザンビーク LNG 事業は、移転を強いられた住民への補償が適切に行われていないことや深刻な人権侵害の疑惑[6]等、様々な問題が指摘されてきた。2024年9月下旬、ニュースメディア Politico は、2021年に LNG 事業に関連するモザンビーク治安部隊が住民の虐殺に関わった疑いを報道[7]。今年11月には、欧州に拠点を置く非営利団体である European Center for Constitutional and Human Rights (ECCHR) が、トタルエナジーズ社の戦争犯罪や拷問への加担を問い合わせ、フランス国家テロ対策検察庁 (PNAT: Parquet National Antiterroriste) に対し告発を行った[8]。

深刻な人権侵害の疑いや、住民への補償が不十分であること、また気候危機を加速させるなどの懸念から、国内外の市民社会団体は、モザンビーク LNG 事業に関与する金融機関等

に対し事業からの撤退を求めてきた。日本政府も、改めてモザンビーク LNG を取り巻くりスクを直視すべきである。英蘭の輸出信用機関が抜けた穴を JBIC や NEXI が埋めるようなことは当然あってはならない。

私たちは改めて日本の官民に対し、事業からの撤退を求める。

以上

連絡先：

国際環境 NGO FoE Japan (担当：深草、佐藤)  
〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9  
Tel : 03-6909-5983 Fax : 03-6909-5986

---

[1] "Mozambique Liquified Natural Gas project Statement made on 1 December 2025" 2025 年 12 月 1 日  
<https://questions-statements.parliament.uk/written-statements/detail/2025-12-01/hcws1111>

[2] "Update and answers to parliamentary questions about export credit insurance (ECI) for an LNG project in Mozambique" 2025 年 12 月 1 日

<https://open.overheid.nl/documenten/314a99be-20a7-4a59-82d0-863dc825e4d9/file>

[3] "TotalEnergies and partners lift force majeure on \$20 billion Mozambique LNG project" ロイター 2025 年 10 月 26 日, <https://www.reuters.com/sustainability/climate-energy/totalenergies-partners-lift-force-majeure-20-billion-mozambique-lng-project-2025-10-25/>

[4] 「トタルエナジーズは、どんな犠牲を払ってでもモザンビーク LNG を再開する予定である——ただし、その犠牲を払うのはモザンビークの人々である」 2025 年 10 月 28 日 <https://foejapan.org/issue/20251028/26433/>

[5] モザンビーク LNG ファクトシート <https://foejapan.org/issue/20240827/20016/>

[6] Perry, A. "All must be beheaded" Politico. 2024 年 9 月 26 日 <https://www.politico.eu/article/totalenergies-mozambique-patrick-pouyanne-atrocites-afungi-palma-cabo-delgado-al-shabab-isis/>

[7] 脚注 6 に同じ

[8] "TotalEnergies faces criminal complaint for complicity in war crimes, torture and enforced disappearance in Mozambique" 2025 年 11 月 18 日

<https://www.ecchr.eu/en/press-release/totalenergies-faces-criminal-complaint-for-complicity-in-war-crimes-torture-and-enforced-disappearance-in-mozambique/>